大人気の「宮前ドーナツ」→

南平台

## 食欲の秋甘～いお菓子大好き なんぺいの木

「宮前ドーナツ」は、ドーナツの形をした焼き菓子です。
リンゴ、レモン、黒糖きなこ・・・どれにしようかな。
マドレーヌみたいな食感で油で揚げていないので口紅が落ちません。
甘党女子にお勧めです。
小腹がすいた時に召し上がれ...

住 南平台3-5
TEL 044-982-0363
営 10:00-19:00
定 水曜日

宮前区観光協会員

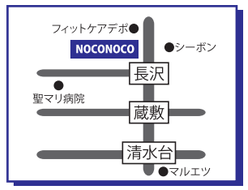
菅生

## 誕生日や記念日に人気のケーキ パティスリー NOCONOCO

店内は季節の大切り果物が乗ったショウケースの並んだケーキ、焼き菓子、シフォンケーキ、レモンケーキと種類が豊富で幸せ・・・どれにしようかな
おすすめはベリーパイ!!アーモンドパウダーが入った生地はサクサクで回りにホワイトクリーム、自家製のラズベリージャムがたっぷりとのっています。
気に入ったケーキは店内で召し上がれます。

住 菅生2-23-1
TEL 044-789-8668
営 10:00-20:00
定 水曜日（都合により定休あり）

宮前区観光協会員



←イートインコーナー

［文・写真］渡邉寛美（宮前区観光協会理事）

人が好き　緑が好き　まちが好き

## 宮前区観光協会入会案内

宮前区観光協会では、宮前区の観光資源を多くの人たちに知ってもらう活動を行っています。

年間行事・イベント
・ウォークイベントの実施
・宮前区民祭への参加
・宮前区観光協会ホームページの運営
・宮前区観光協会情報誌「宮前の風」の発行（年２回）
・影向寺をはじめとした観光振興の推進

［会費］個人会員１口　1,000 円
団体会員１口　5,000 円
法人会員１口 10,000 円

宮前区観光協会　検索

TEL.044-856-3135（地域振興課）✉ info@miyamae-kankou.net

## 第１４回 フォトコンテスト作品大募集！

写真とメッセージで宮前区の魅力発信！

募集期間　令和元年 10 月　1 日（火）～ 12 月　6 日（金）（必着）
撮影対象　宮前区内の知ってほしい風景、まちづくり活動
展示会　令和 2 年　2 月 14 日（金）～　2 月 19 日（水）　場所：宮前市民館ギャラリー
応募方法　区役所等で配布しているチラシか宮前区ＨＰをご覧ください

［お問合せ］宮前区役所地域振興課　044-856-3125

## 編集後記

◆菅生の自宅は平瀬川の傍で夜は川のせせらぎの音と虫の声が心地よいです。玄関先の巨砲がたわわに実り甘くなってきました。有馬の職場は梨畑の傍で今、まさに実りの秋です。そろそろ祭りの季節ですね、私の周りは個性が強くひと癖ある人ばかり集まりいつもにぎやかです。宮前区の観光はやはり人ですね。（渡邉寛美）◆「宮前ドーナツ」のレモン味がさっぱりとしていて大好き。「宮前ドーナツ」は冷蔵庫で冷やして食べてもおいしいよ。（風）◆「ノコノコ」で話題なのが「ノコノコのやみつきシフォンケーキ」シェフこだわりの生食感を残しつつ焼き上げ絶妙の食感をぜひ試してほしいです。（風）◆「宮前の風」は、取材・編集・版下作成とすべて当観光協会理事が行っている手づくりの通信。プロ仕様ではありませんがご笑覧いただければ幸いです。（弘）



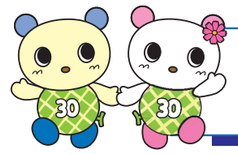
発行　宮前区観光協会　編集・作成　宮前区観光協会企画部会
事務局　宮前区役所地域振興課　TEL044・856・3135

「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり　宮前区観光協会　第29号2019年10月発行

# 宮前の風

人が好き
緑が好き
まちが好き

宮前区観光協会



## 宮前区の観光について
宮前区長　髙橋哲也

３月31日の宮崎台のさくら祭りで、多くの区民のみなさまに見守っていただきながら、小田嶋区長との固い握手とともに、宮前区長のバトンを受け取り、早 5 か月が経過しました。

区長就任以来、地域の様々なイベントや活動に参加させていただき、区民のみなさまの地域への愛着、誇り、そして自然や伝統、歴史、文化を大切にする思いに触れてまいりました。

宮前区には文化的遺産や歴史的資源がたくさんあり、また、神奈川県無形民俗文化財に指定されている「初山獅子舞」をはじめ、受け継がれてきた伝統的な文化もたくさんあります。

こうした地域の資源に光をあて、宮前区の観光資源として広く発信し、区の魅力として伝えていくことは、区民のみなさまの地域への誇りと愛着とともに「住んでよし、訪れてよし」の宮前区につながるものと思っています。

平瀬川桜祭り

これまでも、宮前区の魅力を発信するために、各種情報誌が作成されてまいりました。区内では平瀬川桜祭りなど魅力たっぷりの祭りや各種イベントが 1 年を通して様々に開催されており、「宮前歴史ガイド」や「みやまえ坂道ウオーク」、「宮前区歴史ガイドまち歩き」など、こうした情報誌などを活用することにより、宮前区で「遊ぶ」「楽しむ」「参加する」を体験、実現することができます。

さて、来年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、日本は世界から注目されています。特に日本の伝統文化はクールジャパンとして関心が高まっています。

川崎市でも、「新・かわさき観光振興プラン」を策定し、市民のみなさまとさらに一層連携し、オール川崎での取り組みが進められています。

私は観光には様々な可能性があると思っています。

超高齢社会の到来などを見据え、子ども、高齢者、障害者、外国人など、誰もが愉しめる観光価値を創り出していくことは、都市全体の魅力を高め、交流機会を拡大し、誰もがイキイキと暮らせる地域社会の構築につながるものと思います。

宮前区役所としても、区のキャッチフレーズである「人が好き　緑が好き　まちが好き」を、多くの区民のみなさまと共有できるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

## みやまえ歴史探訪

# 下有馬不動堂

### 有馬西明寺

「天平10年（738）聖武天皇の姫阿倍内親王(後の孝謙天皇)が重病となり、大和春日宮にて祈祷する。奉幣使太宰少貳藤原廣嗣、立花の里に来り、玉川川原寺（宮内常楽寺）より玉の霊石を、在馬（有馬）より不動の霊泉を帝に捧げる（霊泉は誠の泉と称し宮中施薬院に常備）。この霊泉により阿倍内親王の病気は平癒することができた。聖武天皇はさっそく病気平癒の報謝を下した。天平12年（740）庚辰、立花の宮内に春日新宮造営。大和春日宮より勧請。在馬（有馬）に西明寺を建立、この報謝によって、西明寺は、聖武天皇（在位724―749）の勅願所であった養護寺（影向寺）の三寺九院の一寺として在馬（有馬）西明寺に建立された。（武州有馬不動尊霊験記）

天暦元年（947）当時流行していた疱瘡（天然痘）が村上天皇（第62代）及び朱雀上皇（第61代）を襲い、二人とも疱瘡に感染してしまった。かつて阿倍内親王（後の孝謙天皇）が重病に罹り、霊石によって病を治癒した故事に従い、奉幣使がその治療のために春日新宮の霊石を祈祷し、天下に轟く在馬（有馬）西明寺の不動の霊泉を汲み上げ、献上し服用した處、立ちどころに再び病気が平癒したという。また、皇子であった多くの子息も同様に罹られたが、在馬（有馬）に赴かれて治療し全快したことが記載されている。霊水は万病の治療に効いたようで、後の北条五代執権時頼公も不動の霊泉によって、疱瘡が全快したと記録がある。

このことから村上天皇は不動の霊泉による疱瘡全快に対して、報謝の品々を諸社寺に寄進。栄興寺（影向寺）には梵鐘を寄進、宮内奥の院（常楽院）には阿弥陀堂、春日新宮には神楽殿、在馬（有馬）西明寺には聖塔などが奉納されたという。

正嘉元年（1257）8月23日地震起こり、社寺、民家崩壊し、在馬（有馬）霊泉源はこの時断切。600年余りに及ぶ霊泉の効果が失する。また在馬（有馬）西明寺の堂宇もほとんど倒壊してしまった。在馬（有馬）西明寺は密教の道場として、修験道の霊地でもあった。正嘉２年（1258）戊午入道時頼発願大檀越となり、在馬（有馬）西明寺再建された。

しかし、永享５年（1433）9月、相模国を中心とする大地震で往古よりの不動の霊泉は湧水を止められ、付近住民にも非常な恐怖を与えたようである。

在馬（有馬）西明寺倒壊。文安念中（1444~1449）有馬西明寺から小杉西明寺へ。

［文・写真］　小川清（宮前区観光ガイドの会）

## 宮前区観光協会 ～会員紹介～

宮前区観光協会は、会員の皆さまの会費によって運営されています。

### ［長沢自治会］（団体会員）

長沢自治会は昭和31年戸数17で発足、現在（令和元年８月）は約900戸を数える。

また、昭和8年建築の自治会館の老朽化が進み手狭のことから新会館建設に着手、平成17年10月完成（3階建て延べ床面積232.5平方メートル）、これに伴いサークル活動が一段と活発になっている。

町は北に長沢浄水場と川崎ゴルフ場の丘陵を背負い、平瀬川支流に開けた田園地帯で、中央を南北に横浜生田線（県道）が走っている。

地域内には、聖マリアンナ医科大学が昭和46年開設（病院は49年）、最近では、シーボンパビリオン本社が建設さえるなど企業等の立地も活発。

病院の開設に伴うバス交通は四通八達、バス交通のハブとなっている。

天正元年（1573年）創建の秋月院、参道入口の長沢六地蔵の１つの「いぼとり地蔵」（享保18年建立、1733年）や長沢自治会館敷地内の大山講の石灯籠など長沢の歴史を物語る石塔なども多い。

納涼盆踊り大会。菅生神社祭礼。どんど焼き。防災フェアが大きな事業で、住民がお互いに助け合ってまちづくりを展開してい.る。

齋藤英男会長は「宅地造成にともない長沢地区は益々若い世代が増え続ける中、伝統行事も継承しつつ安全で安心して暮らせる魅力ある地域づくりを行っていきたい」と笑顔で語った。

長沢自治会　検索

※会員の中から、ランダムにご紹介します!!

## 宮前区「戦争の歴史」東部62部隊

### ■宮崎中学校が軍の本部

部隊本部は、昭和17年に宮崎の丘に駐屯してきた。凡そ2000人から3000人規模の軍隊であった。場所は現在の宮崎中学校敷地内と虎ノ門病院の周辺である。東南方面は谷戸になり梶ヶ谷である。さらに子母口の方から眺めるとかなりの丘の上になる。宮崎中学校には軍の部隊本部が置かれ、現在の体育館が建っている所。二階建ての長屋風の建物であった。望楼があって、当時は東京湾が見えたという。また隣の敷地には守衛、兵舎、馬房、食堂等が宮崎の丘の上に建っていた。さらに青少年の家の處には青年将校の集会場があった所。崖下は西に向かって軍用道路があり、以前は水田地帯で矢上川に沿った農道であったが、16年に軍が移転してくるというので、馬絹の交差点から清水台方向に向かって真っすぐな広い道路を作ることになったそうだ。地元の農民たちは飛行機の離着陸ができるものと思ったようだ。犬蔵の交差点を左折して元石川の方には軍の射撃練習場が同じように作られた。また清水台から右折して桝形山方面に行くと登戸研究所へつながっていた。

東部62部隊本部

転営行進　一ツ木兵舎（赤坂）から溝ノ口兵舎（東部62部隊本部）へ

鵄3062部隊　昭和18年4月７日壮行会

### ■満州に似ていた地形、そして、風船爆弾

軍隊が宮崎の丘にやってきたのは、2，26事件以後、赤坂や六本木に駐屯していた部隊が狭くなった理由で、多摩川を越えた川崎に目が向けられ、多摩丘陵の台地の広がりや丘や谷があまりにも満州の自然に似ている地形だったからだと、言う説もあった。しかし、昭和10年頃には陸軍は、多摩区、宮前区の山林や農地を農民から買収を始めていたようで、特に登戸研究所などは極秘的に周辺住民の労働力を大量に雇い入れ、秘密研究をしていたという。風船爆弾や偽札づくり、毒ガスなどの秘密裏に研究がされていた。

東部62部隊は宮崎の丘に移転してきて、18年に最初で最後の出兵式を行った。この時の部隊名は鵄3062部隊といい、鳥羽連隊長が部隊長となって満州国から中華民国にいき、2年4ケ月余りの激戦の末上海で終戦を迎え復員してきた。鵄3062部隊が戦地に行ってからの宮崎の丘には、予備兵が残り周辺の寺社や農家の所に派遣され、野菜作りに駆り出されていた。

［文・写真］　小川清（宮前区観光ガイドの会）

## 観光協会の活動

### ■宮前区観光協会定期総会

6月7日(金)15:30～　区役所4階大会議室

川崎市観光協会青木理事、髙橋宮前区長の二人をお迎えし、御祝辞をいただいた。

議案は第 1 号議案から第 5 号議案まで質疑応答形式で審議され了承された。

□10月20日(日)宮前区民祭参加
□（秋）ウォークイベント実施
□（秋）研修会開催

宮前区観光協会　検索